



セーフコミュニティ郡山

2018.2.2 国際認証取得

2023.2.4 国際認証再取得

セーフコミュニティ通信 第46号

2026(令和8)年1月発行

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



セーフコミュニティ推進事業所の活動を紹介します

現在セーフコミュニティ推進事業所として **62** の事業所が登録し、安全・安心なまちセーフコミュニティこおりやまの活動を推進しています。

今回はその中から、令和2年12月より推進事業所として登録していただいている

株式会社福島情報処理センター さんに活動の内容をお聞きしました！



交通安全に関する取組

- シートベルトチェック
車通勤の社員を対象として毎年春と秋の年2回、出勤の時間帯にシートベルトを着用しているかの確認を行っています。



交通安全運動期間の周知

全社員が閲覧できるグループウェアに交通安全運動期間のお知らせを掲示し、社内にポスターを張ることで周知しています。

● アルコールチェック

社用車を運転する際は、運転前後にアルコールチェックを実施しています。会社のグループウェアに記録することで管理を徹底しています。

● ドライブレコーダーの取付

事故に対する備えとして、全社用車にドライブレコーダーを取り付けています。社用車の法定点検に併せて、ドライブレコーダーの動作確認も行っています。

認知症高齢者SOS見守りネットワーク

郡山市認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会に加盟しており、市から配信される行方不明者情報を全社員が閲覧できるグループウェアに掲示しています。

過去には実際に社員が行方不明の高齢者を発見し、保護につながった事例もあります！

【保護につながった事例】

社員が外出中に挙動不審な高齢者を見かけ、会社に戻ったところ、グループウェアで掲示されていた行方不明者情報が見かけた高齢者の特徴と一致したため、市に連絡し、無事に保護された。



防災に関する取組

● 火災を想定した訓練

給湯室から火災が発生したことを想定し、避難訓練を行っています。避難訓練終了後は、消防・防火担当者を対象に消火訓練も実施しています。



● 災害に備えた備蓄品の管理

東日本大震災の経験から、食料品や水、防災グッズを備蓄するようにしています。備蓄品は一覧をデータで管理し、定期的に期限を確認し、発注・入れ替えを行っています。



救護に関する取組

社内にAEDを設置しています。また、救護担当者を対象として救護訓練を実施しています。AEDの使い方や心肺蘇生法を実践的に学び、適切な救護ができるよう取り組んでいます。



株式会社福島情報処理センターさんが伝えたい想い

- 「交通事故の絶無を期する」ということを、弊社が設立された60年前から職場の信条として掲げており、設立当初から交通事故防止に力を入れて取り組んでいます。
- また、外回りの業務が多いため、認知症高齢者SOS見守りネットワークなどの取組に積極的に協力していきます。
- 今後も安全・安心なまちづくりのためにできることから取り組んでまいります。

今回お話を伺ったのは...



総務部 仁井田部長

総務部 梅津さん

～取材協力ありがとうございました～

登録いただいた事業所は、市ウェブサイトやセーフコミュニティ通信などに掲載し、事業所の安全・安心活動をPRします！

参加登録事業所の一覧やこれまでの取組報告については、市ウェブサイトからご覧いただけます。

セーフコミュニティ 推進事業所

検索



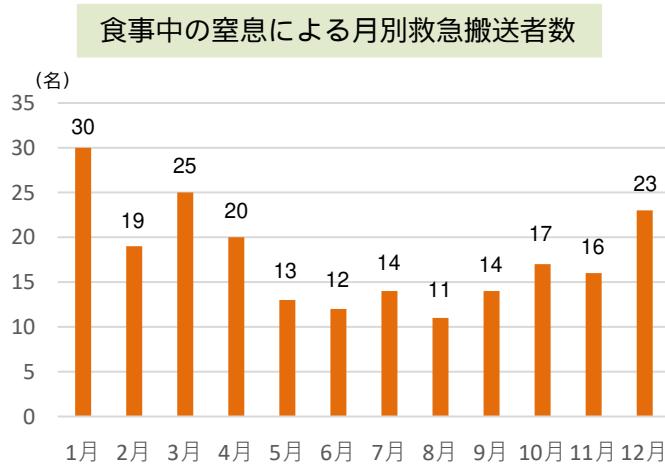

食べ物による窒息に注意しましょう！ =予防救急=

郡山地方広域消防組合は
けがなどを予防する
『予防救急』に
取り組んでいます。



お正月は餅を食べる機会が多く、食事中の窒息による救急搬送が増加する傾向にあります。

郡山地方広域消防組合管内では、過去10年間（2015年から2024年まで）に食事中の窒息が原因で214名が救急搬送されています。



食事中の窒息による救急搬送者数を月別で見ると、「1月」が30名と最も多く、次いで「3月」が25名、「12月」が23名となり、12月から4月にかけて救急搬送者数が増えていることが分かります。

65歳未満
15.4%
(33名)

65歳以上
84.6%
(181名)

食事中の窒息
による
救急搬送者の
年齢別割合

不明
45.3%
(97名)

その他
15.0%
(32名)



窒息事故は日常の生活で起こりやすく、全年齢で発生する可能性があります。特に高齢者は、加齢とともに噛む力が衰え、咳による除去ができず、窒息に至る恐れがあります。



餅
12.6% (27名)

ごはん類
7.0% (15名)

果物

パン

おかゆ・流動食

麺類

6.1% (13名)
6.1% (13名)
5.1% (11名)
2.8% (6名)



窒息の対処法

食事中に苦しそう、顔色が悪い、声が出せない様子の時は窒息を疑ってください。

窒息した人には喉に手を当て、窒息を表す**チョークサイン**が見られます。



反応がある場合

反応がない場合

119番通報を行い、直ちに心肺蘇生を行ってください。

119番通報よりも異物除去を優先してください。背部叩打法を試み、効果がなければ腹部突き上げ法を行ってください。

背部叩打法



窒息した人の背中側から手のひらで左右の肩甲骨の中間あたりを強く何度も叩きます。

腹部突き上げ法



窒息した人の背面に立ち、握りこぶしの親指側をへそより少し上に当てもう一方の手で握って素早く手前上方に向かって圧迫するように突き上げます。

※妊婦や乳児には腹部突き上げ法は行わないでください。

※腹部突き上げ法を実施した場合、内臓を痛める可能性があるため、救急隊にその旨を伝えるか、速やかに医師の診察を受けさせてください。

予防について

食事による窒息事故を防ぐには、食材を小さく切り分けることが重要となります。餅やごはんなど粘り気がある食材については、特に注意が必要です。水分で口の中を潤し、少量ずつ食べるよう促しましょう。

窒息の状態では、声が出せなくなり、助けを呼ぶことができなくなることから、家族や周りの見守りも大切です。

発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会 / 2026(令和8)年1月

【お問い合わせ・連絡先】

事務局：郡山市市民部セーフコミュニティ課セーフコミュニティ推進室（郡山市役所西庁舎3階）

電話 024-924-2151 フax 024-921-1340

メールアドレス safecommunity@city.koriyama.lg.jp

郡山市 セーフコミュニティ

検索

X(旧ツイッター)アカウント

『セーフコミュニティごおりやま』では、安心・安全につながる活動や、セーフコミュニティ活動の取り組み事例などを紹介しています。



@sc_koriyama
みんなのフォローをお待ちしています！